第 55 回　関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会　埼玉大会

第5分科会　A家族・家庭と子どもの成長

人と関わることを通して自己を見つめ、よりよい家庭生活を創造できる生徒の育成
～人との関わりを重視した学習指導法の研究～

略　案　集

平成 28 年 10 月 13 日(木),14 日(金)

目　次

１　内容A「家族・家庭と子どもの成長」の実践例＜全２０時間＋課題と実践３．５時間＞
（触れ合い体験3回実施の場合）

・　3学年間における履修計画
・　指導計画・評価計画
・　略案①～⑳

２　触れ合い体験１回実施の場合の実践例

・　3学年間における履修計画
・　指導計画・評価計画
・　略案㉑～㉕

３　内容A「家族・家庭と子どもの成長」とB，C，Dの内容を関連させた実践例

・　略案　内容Bと関連させた実践例
・　略案　内容Cと関連させた実践例
・　略案　内容Dと関連させた実践例

1　内容Ａ「家族・家庭と子どもの成長」の実践例

＜全20時間＋課題と実践3.5時間＞

（触れ合い体験3回実施の場合）

第５分科会

【A　家族・家庭と子どもの成長】に重点をおいた３学年間における履修計画例

	週(時)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年	題材名	ガイダンス	家族との関わりから自分を見つめよう		自分の衣生活を工夫しよう															みんなが安心・安全な住まいを工夫しよう									賢い消費者になろう							
	学習指導要領項目等	A(1)ア	A(2)アイ		C(1)アイウ　D(2)ア									C(3)ア						C(2)アイ　A(3)ウ									D(1)アイ　A(2)イ							
	指導内容	・自分の成長と家庭生活 ・3学年間の学習の見通しをもとう 見つめる	・家庭生活と地域との関わり ・家庭や家族の機能 ・私を支えてくれた家族や周囲の人々 見つめる さぐる		・環境に配慮した衣生活 ・日常着の補修 ・日常着の手入れ ・衣服の表示と繊維 ・衣服の活用と選び方 ・自分らしく目的に合わせた着方 ・衣服のはたらき									・生活を豊かにするものの製作										・家族が安全に過ごせる室内環境	・安全な住まい ・家族の住まいのはたらき ・家庭内事故を防ぐ ・①空間	・②災害への備え	・快適な住まい				・商品の適切な選択と購入 ・販売方法の特徴 ・消費者の基本的権利			・身近な消費トラブルと対処法		・環境に配慮した消費生活	
	授業時数	1	2		9									6						5				(A)	2	2			3			3	(A)		2	
2年	題材名	健康的な食生活を工夫しよう												賢く健康的な食事をつくろう																				幼児の生活をさぐろう		
	学習指導要領項目等	B(1)アイ(2)アイ							B(2)ウ					B(3)ア											B(3)イ　A(2)ア						B(3)ウ【生活の課題と実践】			A(3)アウ		
	指導内容	・食事の役割 ・生活リズムと食事 ・栄養素のはたらきと食品 ・中学生に必要な栄養 ・食品の栄養的特質と概量							・生鮮食品の選び方 ・いろいろな加工食品 ・食品の安全と情報 ・加工食品の表示と選び方					・調理の計画 ・調理の基本 ・食品や調理用具の管理 ・肉の調理 ・魚の調理 ・野菜の調理											・地域の食材と郷土料理		・受け継がれる食文化				★家族のためのお弁当作り			・触れ合い体験A（児童センターでの観察） 見つめる・さぐる		
	授業時数	6							4					13											3	(A)		3			★3			3		
3年	題材名	幼児の成長から自分の成長を見つめよう																																これからの生活を展望しよう		
	学習指導要領項目等	A(1)ア(3)アイウ							A(3)イウ											A(2)イ(3)ア			A(3)エ【生活の課題と実践】											A(1)ア		
	指導内容	・自分の成長 ・家族の関わり ・幼児の心身の発達 ・幼児の生活習慣 ・幼児と遊び 見つめる・ためす							・触れ合い体験Bの準備、計画 ・触れ合い体験B（遊びの計画） ・触れ合い体験B（保育所、幼稚園での触れ合い） ・ふりかえり ・触れ合い体験の情報共有、 ためす・活かす											・子どもの成長と地域 ・幼児を取り巻く環境 結びつける 活かす			・課題設定、計画 ・触れ合い体験C（親子来校） ・評価、改善 活かす・創み出す									・自分の成長と家庭生活 創み出		
	授業時数	5							6											2			★3.5											1		

【A　20H+★3.5　　B　29H+★3　　C　24H　　D　8H（★課題と実践）】

◇内容Aを1学年の最初と3学年の最後に位置づけることによって、自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられていることを意識させる。
◇全学年で内容Aに関する学習を扱うことで、内容Aが3学年間の学習の軸であることを明確にした。
◇内容Aの学習と内容B・C・Dの関連を図った学習活動を取り入れ履修計画に位置付けた。
◇触れ合い体験を2年生から計画的に、3回（A、B、C）位置付けた。

第5分科会 【A 家族・家庭と子どもの成長】 指導計画・評価計画

分科会テーマ 人と関わることを通して自己を見つめ、よりよい家庭生活を創造できる生徒の育成 ～人との関わりを重視した学習指導法の研究～

●内容Aのねらい

幼児との触れ合いや家族・家庭に関する実践的・体験的な学習活動を通して，幼児に関心をもたせるとともに，自分の成長や家族・家庭，幼児の発達と生活について関心と理解を深め，家族や幼児に主体的に関わることができるようにする。また，これからの生活を展望して，課題をもって家庭生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

●内容Aの評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・3学年間の学習に見通しをもち，自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて関心をもって学習活動に取り組もうとしている。 ・家庭と家族関係について関心をもって学習活動に取り組み，家庭生活をよりよくしようとしている。 ・幼児の生活と家族について関心をもって学習活動に取り組み，家族又は幼児の生活をよりよくするために実践しようとしている。	・家庭と家族関係について課題を見付け，その解決を目指して工夫している。 ・幼児の生活と家族について課題を見付け，その解決を目指して自分なりに工夫し創造している	・幼児の生活と家族に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	・家庭や家族の基本的な機能，家庭生活と地域とのかかわりについて理解している。 ・幼児の生活と家族について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

指導学年	時間	題材名【指導項目】 ○ねらい・学習活動	学習内容	評価規準 生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	評価方法	研究テーマとの関わり 能力	態度	働きかけのポイント	略案・ワークシート	★関わりのポイント
1年（3時間）		3学年間の学習の見通しをもとう【A（1）ア】 1時間											
	1	家庭分野では何を学ぶのだろう ○今までの学習を振り返りながら、自己を見つめ、自分の成長と家族との関わりについて考え、これから始まる3学年間の学習について見通しをもつことができる。 ・家庭生活や小学校での学習を振り返る。 ・家族との関わりを考えながら、3学年間の学習の目標を立てる。	○自分の成長と家庭生活 ～自分の思いを手紙にしよう～	・小学校の学習を振り返り，3学年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付いている。				ワークシート	見つめる	受動	自分の成長を振り返り、自分と家族との関係を見つめさせる。	略案①★ ワークシート①★	自分と家族
		家族との関わりから自分を見つめよう【A（2）アイ】 2時間											
	2	家庭のはたらきや地域との関わりを考えよう ○家庭や家族の基本的な機能を知り、家庭や家族の大切さや関わり方について考えることができる。 ・家庭内外での活動について調べ、ロールプレイングなどの活動から家族のあり方について考える。	○私を支えてくれた家族や周囲の人々 ○家庭や家族の機能	・家庭生活に関心を持って、学習活動に取り組もうとしている。			・家庭や家族の基本的な機能について理解している。	ワークシート・テスト	見つめる さぐる	受動＋能動	家庭のはたらきを知り、地域のために何ができるかをさぐり、自分と家庭・地域との関わりについて見つめさせる。	略案②★ ワークシート②★	自分と家庭・地域
	3	○家庭生活と地域との関わりについて理解し、よりよい関わり方を考えることができる。 ・地域の様々な活動について調査し、地域の活動を支えるために中学生にできることを話し合う。	○家庭生活と地域の関わり	・家庭生活と地域の関わりについて話し合いなどを通して、地域の人々とのつながりの大切さに気付いている。			・家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを理解している。	ワークシート・テスト				略案③ ワークシート③	
2年（3時間）		幼児の生活をさぐろう【A（3）アウ】 3時間											
	1 2 3	幼児を観察しよう ○幼児の観察や触れ合いを通して、幼児への関心をもつ。 ・児童館を訪問し、幼児の観察や保護者へのインタビューをする。	○触れ合い体験A （児童センターでの観察、インタビュー）	・幼児の観察を通して、幼児に関心をもっている。		・幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりなどについて，観点に基づいて観察し，整理することができる。		ワークシート観察			観察を通して、幼児の生活をさぐり、幼児への関心を高めさせる。	略案④⑤★ ワークシート④⑤⑥★	自分と幼児
3年（17.5時間）		幼児の成長から自分の成長を見つめよう【A(1)ア (2)イ (3)アイウエ】 16.5時間 （★生活の課題と実践3.5時間含む）											
	1	幼児期の成長と様々な人との関わりを考えよう ○自分の成長を振り返り、幼児の生活と家族、幼児を支える様々な人について関心をもつ。 ・写真資料等を見ながらこれまでの成長を振り返り、自分の家族との関わりを考える。	○自分の成長 ○自分と家族の関わり	・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付き、幼児の生活と家族について関心をもっている。				ワークシート	見つめる ためす	受動＋能動	幼児の成長を知り、家族や周囲の人々との関わりについて考えさせる。また、自分に置き換え、自分と家族のあり方を見つめさせる。	略案⑥★ ワークシート⑦★	自分と家族
	2 3	○幼児の心身の発達の特徴について知り、家族の役割について理解する。 ・視聴覚教材や身近な幼児の観察などを通して、幼児の心身の発達の特徴についてまとめ、それを支える生活について考える。	○幼児の心身の発達		・幼児の心身の発達に応じた接し方について考え、工夫している。		・幼児の心身の発達の特徴について理解している。 ・幼児の発達を支える家族の役割について理解している。	ワークシート・テスト				略案⑦⑧★ ワークシート⑧⑨★	
	4	○幼児の生活習慣について知り、家族の役割について理解する。 ・視聴覚教材や身近な幼児の観察を通して、基本的な生活習慣を形成する時の家族の関わり方について考え、家族の役割について話し合う。	○幼児の生活習慣				・基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性とそれを支える家族の役割について理解している。	テスト				略案⑨ ワークシート⑩	
	5	○幼児の観察や遊び体験などを通して、幼児の遊びの意義につて理解する。 ・幼児の1日の生活を理解し、遊びと心身の発達との関わりについて考える。	○幼児の生活と遊び				・幼児にとっての遊びの意義について理解している。	ワークシート観察				略案⑩ ワークシート⑪	
	6 7	充実した触れ合い体験にしよう ○安全への配慮について十分に考え、幼児との触れ合い活動の計画を立てることができる。 ・幼児との遊び方や関わり方の工夫を考え、遊びの計画を立てる。 ・遊びの計画をグループで発表し、改善する。	○触れ合い体験Bの準備、計画	・幼児と触れ合う活動などを通して，幼児に関心をもち，適切に関わろうとしている。	・幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び方について考え，工夫している。			ワークシート観察	ためす 活かす		学習したことを触れ合い体験でためす。また、体験したことを活かし、自分と幼児とのよりよい関わり方について工夫できるようにさせる。	略案⑪⑫★ ワークシート⑫⑬★⑭	自分と幼児
	8 9	○幼児との触れ合い体験を通して、幼児への関心を高めるとともに、幼児との関わり方を工夫できる。 ・前時の計画をもとに幼児と遊んだり、触れ合ったりする。 ・幼児の遊びと心身の発達との関わりについて観察する。	○触れ合い体験B （保育所・幼稚園での触れ合い）	・幼児と触れ合う活動などを通して，幼児に関心をもち，適切に関わろうとしている。				ワークシート観察				略案⑬★ ワークシート⑮★	
	10 11	○幼児の観察や触れ合い活動について意見交換をし、情報を整理することで幼児について理解を深める。 ・触れ合い活動について観察したことや気づいたことなど、意見交換をする。 ・触れ合い活動から、幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫する。	○触れ合い体験Bの情報共有、振り返り		・幼児の心身の発達に応じた関わり方について，観察したことを生かして考え，工夫している。	・幼児の遊びや幼児の発達と人との関わりなどについて，観点に基づいて観察したことを，整理することができる。		ワークシート				略案⑭ 指導案★ ワークシート⑯★	
	12 13	子供の健やかな成長のための制度や環境を考えよう ○子供に関する諸問題や地域の実態から、家族や地域の役割を理解し、家族関係をよりよくするためについて考え、工夫することができる。 ・子供に関わる地域の施設や制度、ニュースなどを調べ、子供を育てるための環境について考える。 ・ニュースや事例家族から課題を見付け、よりよい生活を送るための工夫を考える。	○子供の成長と地域 ○幼児を取り巻く環境	・これからの自分と家族との関わりに関心をもち，家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。	・自分の生活や事例の家族について課題を見付け，家族関係をよりよくする方法について考え，工夫している。		・子供を育てる環境としての家族や地域の役割を理解できる。	ワークシート観察・テスト	結びける 活かす		子供に関する諸問題や地域の実態から、子どもを育てる環境について考え、家庭・地域との関係をよりよくするたの工夫に結び付けさせる。	略案⑮⑯★ ワークシート⑰⑱★	自分と家庭・地域
	14 15 16 16.5	幼児についてもっと知りたいことはなんだろう ○家族又は幼児の生活に関心を持ち、課題をもって家族関係又は幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践できる。 ・自分の生活を見直すことで課題を見付け、計画する。 ・課題を実践し、評価する。 評価、改善ををする。 ・実践したことを発表し、意見を交換することで、自分の実践を見直し、改善する。	★【生活の課題と実践】 ○課題設定、計画 ○触れ合い体験C （親子来校） ○評価、改善	・家族又は幼児の生活をよりよくすることに関心をもち，課題を主体的にとらえ，計画と実践に取り組もうとしている。	・家族又は幼児の生活について課題を見付け，その解決を目指して計画を自分なりに工夫している。 ・実践の成果と課題についてまとめたり，発表したりしている。			ワークシート・発表	活かす 創み出す	能動	触れ合い体験Cを活かし、家族又は幼児の生活についての課題を解決させ、自分と家族や自分と幼児などとのよりよい関わり方を創み出させる。	略案⑰⑱⑲★ ワークシート⑲⑳㉑★	自分と○○
		これからの生活を展望しよう【A（1）ア（2）イ】1時間											
	1	○今までの学習を振り返りながら、自己を見つめ、これからの自分と家族との関わりについて考え、これから始まる生活について見通しをもつことができる。 ・家庭生活や3学年間での学習を振り返る。 ・家族との関わりを考えながら、これからの生活のあり方や目標を考える。	○自分の成長と家庭生活 ～自分の思いを手紙にしよう～	・3学年間の学習を振り返り，これからの生活に見通しをもっている。 ・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付き、これからの自分と家族との関わりをよりよくするためにできることを実践しようとしている。				ワークシート	創み出す		3年間の学習を振り返り、自分と家庭のあり方を考えることで、これからの自分の生活を展望させる。	略案⑳★ ワークシート㉒★	自分と家庭

★関わりのポイントを意識した場面

略案
①

本時の学習【3年間の学習の見通しをもとう】（第１学年　1/3時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・小学校の学習を振り返り，３学年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付いている。			

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (8)	○出席の確認・授業時の約束	□中学校初めての授業のため，授業に対する心構えやルールを伝える。	
問題発見 (2)	中学校の家庭分野ではどんなことを学習するのだろうか。		
課題追及① (5)	○自分の成長と家族 ・自分にかかわりが深い人を挙げる。	□色々な人との関わりを出させるため，生まれてから中学生なるまでを思い起こさせる。	【関心・意欲・態度】〈ワークシート〉 ◇小学校の学習を振り返り，３学年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ◎３学年間の学習が自分のためだけでなく，家族のためにもなることに気付き，意欲をもって学習に取り組もうとしている。
課題追及② (10)	・ワークシートを，自分でできることやできないことで塗り分ける。	□小学校の学習の習熟度や家庭での状況を知るために，３色に色分けさせる。	→色分けしたワークシートを見て，できていない部分に気付かせる。
問題解決 (15)	○３学年間の学習の見通し ・３学年間の家庭分野の学習の流れを知る。	□学習の見通しと意欲を持たせるために，教科書やスライドを使い，大まかに説明する。	【関心・意欲・態度】〈ワークシート〉 ◇自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付いている。 ◎自分は家族や様々な人に支えられてきたことに気付き，これからは自分も支える一員になることに気付いている。
まとめ (10)	・これからの学習でできるようになりたいことや頑張りたいことを書く。★	□自分の頑張ることを宣言し，今後の学習への意欲を高めるために，家族のために一番働いている人に宛て，手紙形式で書かせる。	→色分けしたワークシートを見て，家族の支えに気付かせる。

略案
②

本時の学習【家族との関りから自分を見つめよう】（第１学年　2/3 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・家庭生活に関心をもって，学習活動に取り組もうとしている。			・家庭や家族の基本的な機能について理解している。

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点 〈〉評価方法　◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	・職業当てクイズをする。	□家庭の仕事の大変さに気付かせ，関心を高めるために，クイズ形式で行う。	
問題発見 (2)	家族とよりよく関わるためにはどうしたらよいだろうか。		
情報収集① (8)	○家庭のはたらき ・グラフ「家事を行っている人の割合」「仕事や家事に費やす時間の国際比較」を見て気付いたことを発表する。	□ねらいに沿ったグラフの読み取りができるように，簡単な説明を加えながら，気づいたことを発表させる。	【知識・理解】〈ワークシート〉 ◇家庭や家族の基本的な機能について理解している。 ◎自分の家庭や家族のことを考え，基本的な機能について自分の言葉でまとめることができる。 →教科書を再度確認させる。
情報収集② (12)	・教科書を読み，家庭や家族の基本的な機能をまとめる。 ・自分にとっての家庭や家族について，考えをまとめる。	□知識を確実に定着させるため，教科書を読み，ポイントを押さえる。 □自分の家庭と結びつけて考えさせるために，文章でまとめさせる。	
課題追及 (15)	○家族とのよりよい関わり方 ・教科書をもとに４人グループでロールプレイを行い，それぞれの役の気持ちを考え，発表する。	□家族の気持ちを理解させるために役割分担をし，会話時の気持ちを考えさせる。 □感じ方の違いをわからせるために，相手の気持ちを考えたパターンとそうでないパターンの２つを考えさせる。	【関心・意欲・態度】〈ワークシート〉 ◇家庭生活に関心をもって，学習活動に取り組もうとしている。 ◎自分の成長や生活が家族に支えられていることに気付き，中学生として実践できることを具体的に考えている。 →ガイダンスのプリント等を示し，家庭の仕事の中から自分にできそうなことを考えさせる。
問題解決 まとめ (8)	・これからの自分の家族との関わり方を考える。★	□これからの家族との関わり方を考えさせるために，現在の自分の言動について振り返らせ，家族関係をよりよくするにはどのようなことが大切かを考えさせる。	

略案
③

本時の学習【家族とのかかわりから自分を見つめよう】（第１学年　3/3 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・家庭生活と地域のかかわりについて話し合いなどを通して，地域の人々とのつながりの大切さに気付いている。			家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを理解している。

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (2)	・ガイダンスプリントを見て，地域の人とのかかわりを確認する。	□地域の人との関わりにも気づかせるため，今までの自分を支えてくれた人を確認させる。	
問題発見 (2)	「中学生の自分」が地域のために何ができるだろうか。		
課題分析 (5)	○家庭生活と地域との関わり ・今の自分と地域との関わりについてチェックする。	□自分の現状に気づかせるため，チェックリスト形式で記入さる。	【関心･意欲･態度】 〈観察・発言・ワークシート〉 ◇家庭生活と地域のかかわりについて話し合いなどを通して，地域の人々とのつながりの大切さに気付いている。
課題追及① (25)	・地域で困っている人に遭遇した場面について班で話し合い，発表する。 ・今の自分と地域との関わり方について考える。	□中学生でもできることがあることに気付かせるため，身近な例を挙げ，具体的な方法を考えさせる。 □自分の現状を理解するため，チェックリストの結果や班での話合いをもとに地域との関わり方を考えさせる。	◎自分の現状を踏まえた地域との関わり方について考えたり，相手の立場に立った関わり方を考えたりすることができる。 →他の人の意見についてどう思うか考えさせる。
課題追及② (8)	・自分の地域の課題や他地域の中学生の活動を知る。	□中学生が地域で求められている人材であることに気付かせるため，地域での活動や，震災時の取組事例を知らせる。	【知識・理解】〈ワークシート〉 ◇家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを理解している。 ◎自分ができることについて具体的に考え，地域の人々とのつながりの大切さを理解することができた。
問題解決 まとめ (8)	・中学生の自分が普段からできることをまとめる。	□地域の担い手になれるようにするために，普段からできることを考えさせる。	→他地域の中学生の活動の資料をもう一度読ませる。

略案
④

本時の学習【幼児の生活をさぐろう】（第２学年　1/3 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・幼児の観察を通して，幼児に関心をもっている。			

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (10)	○学習の見通し ・児童館で活動する幼児の様子を映像で見る。 ・「幼児」についてのイメージマップを作成する。	□今後の学習に興味をもたせるために，映像を見せ，幼児の成長について考える学習をすることを知らせる。 □学習後と比較するために，学習前の「幼児」に関するイメージマップを書かせておく。	
問題発見 (2)	幼児を知るための観察ポイントは何だろうか。		
事前指導 (15)	○次時の触れ合い体験の事前説明 ・目的 ・日程，持ち物，行き方・安全指導 ・幼児と触れ合う際の注意点	□幼児を知るために，次時に児童館で幼児の観察や保護者等へのインタビューを行うことを知らせる。 □目的や注意点をしっかりと確認するため，ワークシートを活用させる。	
問題解決 (20)	○幼児の観察計画 ・観察する内容や保護者などにインタビューする事項を考え，自分の課題とし，発表する。 ・自分の課題の見直しをする。	□児童館の様子を映像で流すことで，課題を見付けやすくする。 □ワークシートに触れ合い体験で観察したいことをまとめ，何人かに発表させる。	【関心・意欲・態度】〈ワークシート〉 ◇幼児の観察を通して，幼児に関心をもっている。 ◎幼児に関心をもち，自分の課題を積極的に考えている。 →友だちの発表を参考にさせる。
まとめ (3)	○次時の触れ合い体験の確認	□次時の確認をし，触れ合い体験への意欲を高める。	

略案
⑤

本時の学習【幼児の生活をさぐろう】（第２学年　2,3/3 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
幼児の観察を通して，幼児に関心をもっている。		幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりなどについて，観点に基づいて観察し，整理することができる。	

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5) 移動 (10)	○触れ合い体験Ａ準備 ・課題を確認する。 ・移動 ・館長さんの話及び，諸注意を聞く。	□本時のねらいを達成させるために，各自の課題を確認させる。 □幼児と触れ合うときの注意点を確認するため，館長さんの話をしっかり聞かせる。	
	幼児はどのような特徴があるのだろうか。		
問題発見 (2) 課題追及① (48) 移動 (10) 課題追及② (20) まとめ (5)	○幼児の観察 ・自分の課題を解決するために，観察をしたり，保護者にインタビューをしたりする。 ・幼児と触れ合う。 ・館長さんに終了のあいさつをする。 ・移動 ○幼児の観察の整理 ・幼児を観察して，気づいたことを付箋に書く。 ・付箋を関係があるものごとに分類する。 ○まとめ ・本時でわかったことや気づいたことを発表する。 ・次時までのレポートについて知る。★	□安全に活動できるように巡回し，声をかける。 □積極的に幼児と関わることができるように適宜アドバイスする。 □書き出しやすいように，身体・言葉・遊び方などの項目を示し，付箋に書かせる。 □簡単にまとめることができるように，模造紙に年齢や項目をあらかじめ記入し，付箋を分類させる。 □付箋に書ききれなかったことや体験してきたことをレポートさせる。	【関心・意欲・態度】〈観察・ワークシート〉 ◇幼児の観察を通して，幼児に関心をもっている。 ◎自分の課題を解決するために幼児の観察だけでなく，積極的に保護者にインタビューしたり幼児と触れ合ったりしている。 →観察のポイントを指示したり，幼児や保護者の間に入り触れ合いをサポートしたりする。 【生活の技能】〈付箋，観察〉 ◇幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりなどについて，観点に基づいて観察し，整理することができる。 ◎付箋に書いたことを的確に分類し，付箋同士を結び付けるなどして整理している。 →観察してきたことを付箋に書き出させる。

略案
⑥

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第３学年 1/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付き，幼児の生活と家族について関心をもっている。			

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	・家族から聞いた幼いころの様子を思い出す。	□幼児について関心をもたせるため，名前の由来や好きだったもの，エピソードなどを聞く。	
問題発見 (2)	自分はどのように成長してきたのだろうか。		
課題追及① (25)	○自分の幼い頃を振り返る。 ・幼児，児童の様子をVTR で見る。 ・一生の区分を知る。 ・赤ちゃん人形や幼児服・くつ，手形などと今の自分を比較する。	□幼い頃を思い出させるため，映像を見せる。 □確実に知識を定着させるため，教科書で確認させる。 □幼児に関心をもたせるため，実物資料を提示する。	
課題追求② (10)	○家族の思いを知る。 ・母親からの手紙を読み，感想を発表する。	□親や家族が子どもを大切に思う気持ちや，一人一人がかけがえのない存在であることに気付かせるため，手紙を紹介する。	
問題解決 まとめ (8)	○自分の成長を振り返る。 ・自分はこれまでどのように成長してきたのかについて考える。★	□ここまで大きくなったのは，家族や様々な人に支えられてきたことに気付かせるため，本時の学習を振り返らせながらまとめさせる。	【関心・意欲・態度】〈ワークシート〉 ◇自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付き，幼児の生活と家族について関心をもっている。 ◎家族等の支えに気付き，自分の成長を振り返るとともに，幼児と家族との関わりの大切さに気付いている。 →母親からの手紙をもう一度読ませる。

略案
⑦

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第 3 学年 2/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
			・幼児の心身の発達の特徴について理解している。

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (15)	・幼児の体の感覚を体験し，発表する。	□幼児の感覚が自分たちと違うことに気付かせるため，グループごとに体験させる。	
問題発見 (2)	幼児の心身はどのように発達するのだろうか。		
課題追及① (10)	○幼児の体の発達の特徴 ・幼児服，手形，写真，VTR，赤ちゃん人形等から幼児と中学生の体の違いを調べる。	□幼児の体の特徴について気付かせるために，映像や実物を使って観察させる。	
課題追及② (10)	・幼児の身長や体重のグラフや教科書，写真から幼児期の体の発達について知る。	□幼児期は体の発達が著しいことに気付かせるため，教科書の資料を読み取らせる。	【知識・理解】 〈ワークシート・テスト〉 ◇幼児の心身の発達の特徴について理解している。
問題解決 まとめ (13)	・幼児の体の発達の特徴から，接するときに気を付けることを考える。	□幼児期の体の特徴や発についてより理解を深めるため，本時の学習や体験を生かして考えさせる。	◎幼児の心身の発達の特徴を踏まえたうえで，接するときに気を付けることを具体的に考えている。 →中学生と幼児の体の違いについて考えさせる。

略案
⑧

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第 3 学年 3/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
	・幼児の心身の発達応じた接し方について考え，工夫している。		・幼児の発達を支える家族の役割について理解している。

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	・幼児の写真から幼児の気持ちを読みとる。	□写真を見せ，幼児の気持ちを考えさせることで，幼児でも感情表現ができることに気付かせる。	
問題発見 (2)	自分の成長に家族や周囲の人々はどのように関わってきたのだろうか。		
課題追及① (20)	○幼児の心身の発達 ・写真や映像から運動機能，心，言葉，生活習慣が発達していく様子を知る。	□イラストではなく，映像で見ることにより，より具体的に伝える。 □それぞれの発達は相互に関係していることを理解させるために，一枚のワークシートに記入させる。	【工夫・創造】〈ワークシート〉 ◇幼児の心身の発達応じた接し方について考え，工夫している。 ◎発達の様子から，気を付けることや接し方について，周囲の安全を考えたり言葉かけを年齢に合わせたりするなど具体的に考えることができる。 →事例を示し，同様に考えさせる。
課題追及② (15)	○幼児を支える家族の役割 ・心身の発達の状況から，親や周囲の人はどのように関わったらよいか，気を付けることや接し方を考え，発表する。	□周囲の人々のかかわり方の大切さに気付かせるため，幼児との接し方や気を付けることを考えさせる。	
問題解決 まとめ (8)	・自分の幼い頃を振り返り，どのような人が成長を支えてくれたのかを考える。 ★	□学習したことを自分と結びつけて考えさせるため，自分の成長に関わった人について考えさせる。	【知識・理解】〈ワークシート〉 ◇幼児の発達を支える家族の役割について理解している。 ◎発達段階に応じた関わり方を考えることができ，家族の役割の重要性を理解している。 →ワークシートを見直し，周囲の支えなしに成長できないことに気付かせる。

略案
⑨

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第 3 学年 4/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
			・基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性とそれを支える家族の役割について理解している。

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	・登校する前に家で行った生活行為を考える。	□誰もが生活習慣を身に付けていることを理解させるため，毎日の行動を確認する。	
問題発見 (2)	幼児は生活習慣をどのように身に付けたのだろうか。		
知識習得 (5)	○生活習慣の形成の重要性 ・基本的生活習慣と社会的生活習慣についてまとめる。	□基本的事項をしっかり押さえるために，教科書を使って確認させる。 □幼児がどのような発達状況にあるのか理解させるため，映像を使って具体的に確認する。	
課題追及① (23)	○生活習慣の形成を支える家族の役割 ・幼児(2 歳と 5 歳)の事例を見て，生活習慣を身に付けるためにどのように言葉をかけたらよいか考えグループでまとめ，発表する。	□2 歳，5 歳の発達の差を理解させるため，前時のワークシートを確認し，心身の発達と結び付けて考えさせる。 □いろいろな人の考えを聞き，よりよい言葉かけが考えられるように，話し合いや発表をさせる。	【知識・理解】〈ワークシート〉
課題追及② (5)	・よくない家族の関わり方の例を知る。	□幼児期の関わり方が成長に大きな影響を与えることに気付かせるために例を示す。	◇基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性とそれを支える家族の役割について理解している。 ◎幼児期の家族の役割や重要性について十分理解し，自分の言葉でまとめている。
問題解決 まとめ (10)	・幼児が生活習慣を身に付けるときに大切なことを考え，発表する。	□教科書の知識だけでなく，より理解を深めるため，自分の言葉でまとめさせる。	→教科書を参考にしてまとめさせる。

略案
⑩

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第３学年 5/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
			・幼児にとっての遊びの意義について理解している。

（２）展開

学習 過程 (時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	・ある人の生活時間を見せ，誰なのかを予想する。	□幼児の睡眠時間や食事の回数が中学生と違うことに気付かせるため，クイズを出す。	
問題発見 (2)	幼児にとって，遊びとはどのようなものだろうか。		
知識習得① (15)	○幼児の１日の生活 ・幼児と中学生の生活時間を読み取り，幼児の生活の特徴をまとめる。	□グラフを確実に読み取らせるために，自分の言葉で特徴をまとめさせる。	
知識習得② (8)	○遊びと心身の発達との関わり ・幼児の遊びの特徴をまとめる。	□知識を確実に定着させるため，教科書を読み，ポイントを押さえる。	
課題追求 (15)	・幼い頃やっていた遊びについて，どんな力が育つか考える。	□遊びが様々な能力を引き出すことを理解させるため，自分が幼い頃にやっていた遊びについて分析させる。	【知識・理解】〈ワークシート〉 ◇幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ◎自分の言葉を使って，幼児にとっての遊びの意義についてまとめることができる。 →教科書を参考にしてまとめさせる。
問題解決 まとめ (5)	・幼児にとっての遊びについてまとめる。	□本時の学習を生かしたまとめにさせるため，自分の言葉で考えさせる。	

略案
⑪

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第 3 学年 6/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
幼児と触れ合う活動などを通して，幼児に関心をもち，適切に関わろうとしている。			

（２）展開

学習 過程 (時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	・ビデオを見て，幼児の遊び方について気がついたことを話し合う。	□発達段階による遊び方の特徴に気付かせるため，年齢別の幼児の遊びの様子を見せる。	
問題発見 (2)	幼児と楽しく遊ぶにはどうしらよいだろうか。		
情報収集 (10)	○触れ合い体験での遊びの計画 ・担当する年齢の幼児の心身の発達の特徴を確認する。	□心身の発達の特徴が，幼児とのよりよい関わり方に生かすことができるように，事前のワークシートや教科書を使い，確認させる。	
課題追及① (30)	・担当する年齢の幼児に合わせた遊びの計画を考える。 ・グループになり，それぞれが考えた計画を発表し合い，意見をまとめる。 ・グループ内で遊びの計画をもとに，練習をする。	□全員に考えさせるため，個人で計画を練った後にグループで話し合わせる。 □触れ合い体験での遊びが，自分たちだけで進められるように十分な時間をとり，計画を立てたグループは練習をさせる。	【関心・意欲・態度】〈ワークシート，観察〉 ◇幼児と触れ合う活動などを通して，幼児に関心をもち，適切に関わろうとしている。 ◎幼児の発達や性格などの個人差，安全に配慮した遊び方を考えている。 →幼児の心身の発達や年齢による遊び方の違いを確認させる。
まとめ (3)	○次時の確認 ・遊びの計画を発表することを知る。	□よりよい遊びの計画になるように，次時に他グループの発表聞いて，計画の見直しをすることを伝える。 □遊びの計画に必要なものがある場合には用意させる。	

略案
⑫

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第 3 学年 7/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・幼児と触れ合う活動などを通して，幼児に関心をもち，適切に関わろうとしている。	・幼児の心身の発達に応じた遊びや，遊び方について考え，工夫している。		

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (3)	・先輩の触れ合い体験の様子を VTR で見る。	□触れ合い体験への意欲を高め，具体的な遊びが考えられるように先輩の体験の様子を見せる。	
問題発見 (2)	遊びの計画をよりよくするためにはどうしたらよいのだろうか。		
課題追及① (18)	○触れ合い体験での遊びの計画の発表 ・担当グループごとに年齢に合った遊びの計画を発表する。	□心身の発達だけでなく，安全面や身に付けたい能力などについても考えさせたいため，ワークシートのチェック欄を活用し，発表を聞かせる。	【工夫・創造】〈ワークシート・発表〉 ◇幼児の心身の発達に応じた遊びや，遊び方について考え，工夫している。 ◎心身の発達だけでなく安全面や既習の事項などについて考え，幼児が楽しんで遊べる計画を具体的に立てている。 →同じグループの人ともう一度相談させる。
課題追及② (10)	○遊びの計画の見直し ・他グループの発表やアドバイスを参考に計画を見直す。	□よりよい計画にするために，見直しの時間を設ける。	
実習説明 (10)	○触れ合い体験について ・次時に行う触れ合い体験についての説明を聞く。	□目的を持った体験にするため，ねらいを確認し，説明資料や実習への心構えなどを載せたワークシートを活用する。	【関心・意欲・態度】〈ワークシート〉 ◇幼児と触れ合う活動などを通して，幼児に関心をもち，適切に関わろうとしている。 ◎幼児に積極的に関わろうとし，学習したことを生かして触れ合い体験に臨もうとしている。 →触れ合い体験に幼児への印象が変わった先輩の話をする。
問題解決 まとめ (7)	○触れ合い体験に向けて ・次時の触れ合い体験についてどのように行うのか自分の考えをまとめる。	□不安を取り除き，意欲的に取り組めるように先輩の話などを紹介する。	

略案
⑬

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第 3 学年 8,9/16.5 時間）

（1）本時の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術について の知識・理解
・幼児と触れ合う活動などを通して，幼児に関心をもち，適切に関わろうとしている。			

（2）展開

学習 過程 (時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
準備 (23)	・移動 ・あいさつをする。 ・園の先生からの話や諸注意を聞く。 ・関わり方や学習課題を確認する。	□幼児の見本となるように，静かに真剣に話を聞くよう指導しておく。 □自分の課題を確認できるように，各自テーマを思い出させる。	
	幼児と適切に関わるためにはどんな工夫をしたらよいだろうか。		
課題確認 (2) 体験 (60) 終了 (15)	○幼児の観察，触れ合い体験 ・担当クラスに分かれ，遊びの計画に沿って触れ合い体験を行う。 ・お礼の言葉・感想を発表し，あいさつをする。 ・移動	□積極的に幼児と関わることができるように，適宜アドバイスをする。 □孤立している生徒や幼児がいないように，各教室を巡回する。 □代表生徒を決めておき，幼児にもわかるあいさつができるように指導しておく。	【関心・意欲・態度】〈観察〉 ◇幼児と触れ合う活動などを通して，幼児に関心をもち，適切に関わろうとしている。 ◎幼児に積極的に関わり，幼児の反応に応じて，遊びを工夫したり声かけを工夫したりしている。 →幼児と生徒の間に入り，計画した遊びを支援する。
まとめ (課題)	○触れ合い体験の記録 ・触れ合い体験から幼児との関わり方について考えたこと及び次時に使用するワークシートを記入してくる。★		【関心・意欲・態度】〈ワークシート〉 ◇幼児と触れ合う活動などを通して，幼児に関心をもち，適切に関わろうとしている。 ◎触れ合い体験の反省をもとに，幼児とのよりよい関わり方を考え，今後も積極的に関わろうとしている。 →幼児との関わりが大変なことに共感し，体験してきたことを素直に書くように話す。

略案
⑭

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第 3 学年 10/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
		幼児の遊びや幼児の発達と人との関わりなどについて，観点に基づいて観察し，整理することができる。	

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (8)	○触れ合い体験の振り返り ・動画や写真を見て体験を思い出す。	□本時の学習にスムーズに入るために，動画や写真を見せ，生徒が体験を思い出したり，友だちの活動の様子を知ったりする。	
問題発見 (2)	幼児の心身の特徴や遊び方は年齢によってどんな違いがあるだろうか。		
課題追及① (15)	○幼児の遊びや発達 ・自分が担当したり観察したりした幼児について，遊び方や心身の発達の特徴をワークシートに記入する。	□十分な記述をさせるために，課題でやってきたものを確認するとともに，記入のポイントを再度確認し，不足分を書く時間をとる。	
課題追及② (15)	シェアタイム～幼児の特徴や遊び方～ ○情報交換 ・同じ年齢の幼児を担当した人とグループを作り，情報交換をする。 ※次時にも残りの『シェアタイム』を行う。	□自分だけでは気付くことができなかった幼児の様子を知るために，他の人の情報を赤ペンで記入させる。 □ちょっとした体験にも情報がかくれているため，エピソードを話すなど自由に意見交換させる。	【技能】〈ワークシート〉 ◇幼児の遊びや幼児の発達と人との関わりなどについて，観点に基づいて観察し，整理することができる。 ◎他の人の意見も取り入れ，自分の意見と比較するなど工夫してまとめることができる。 →体験で観察してきたことをそのまま記入するように指示する。
まとめ (10)	・いろいろな人から情報を集め，幼児についてわかったことや感想を発表する。	□観察した幼児ではない幼児と比較させるために，感想を発表させる。	

略案
⑮

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第 3 学年 12/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
	・自分の生活や事例の家族について課題を見つけ，家族関係をよりよくする方法について考え，工夫している。		

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	・待機児童の人数について知る。	□子どもや家庭に関する問題が，今現在，身近に起こっていることに気付かせるため，新聞記事やニュースを利用して知らせる。	
問題発見 (2)	子どもを育てる環境や家族関係をよりよくするにはどうしたらよいだろうか。		
知識習得 (15)	○様々な子育ての場 ・子どものための施設や法律，子どもを持つ家庭のためのサービスなどを知る。	□自分たちの生活と密接していることを理解させるため，地域の施設やサービスを取り上げて紹介する。 □困っている親の状況を具体的に知らせることで，現在起きている問題だということに気付かせる。	
課題追及① (20)	○子どもを育てる環境や家族関係をよりよくする方法 ・モデル家族の課題を見付け，子どもの生活や家族関係をよりよくする方法を考える。	□学習した施設やサービスについて理解を深めるため，モデル家族に当てはめて考えさせる。 □施設やサービスだけに頼るのではなく，家族同士の思いやりや支えに気付かせるため，それぞれの気持ちを考えさせる。	【工夫・創造】 〈ワークシート・発表〉 ◇自分の生活や事例の家族について課題を見つけ，家族関係をよりよくする方法について考え，工夫している。 ◎事例家族の課題を見つけ，学習した施設やサービスを利用するだけでなく，家族間で互いを思いやり，適切な解決方法を考えている。 →家族それぞれの気持ちを考えさせる。
課題追求② (8)	・他にどんな施設やサービスがあったらよいか考え，発表する。	□地域のことを考えたり，将来の自分を想像したりすることで，子どもや家庭に関する問題に関心を高める。	

略案
⑯

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第 3 学年 13/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・これからの自分と家族との関わりに関心をもち，家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。			・子どもを育てる環境としての家族や地域の役割を理解できる。

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	・新聞やニュースから最新の子どもや家族に関する問題を知る。	□最新の情報を紹介することで，関心を高める。	
問題発見 (2)	子どもを育てるために大切なことは何だろうか。 ○子どもを育てる環境としての家族や地域の役割		
情報収集 (20)	・新聞やインターネットなどから子どもや家族に関するニュースを取り上げて調べる。	□効率よく調べるために，テーマを絞り，それぞれの課題を決定してから調べさせる。	
課題追及 (10)	・ワークシートにまとめ，発表する。	□様々な情報を得るために，違うテーマの生徒に発表させ，メモを取らせる。	【知識・理解】〈ワークシート〉 ◇子どもを育てる環境としての家族や地域の役割を理解できる。 ◎家族や地域の重要性を理解しているとともに具体的な関わり方を考えている。 →これまでワークシートを参考にさせる。
問題解決 (7)	・子どもを育てる環境としての家族や地域の役割について考える。	□多面的に考えさせるため，本時の学習だけでなく，これまでのワークシート等も参考にさせる。	【関心・意欲・態度】〈ワークシート〉 ◇これからの自分と家族との関わりに関心をもち，家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。 ◎現在の自分やこれからの自分ができること具体的に考え，意欲的に取り組もうとしている。 →これまでワークシートを参考にさせる。
まとめ (6)	・幼児や家族，地域とこれからどのように関わっていきたいのかを考える。★	□将来を見通して考えさせることで，家庭観の醸成につなげる。	

略案
⑰

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第 3 学年 14/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
	・家族又は幼児の生活について課題を見つけ，その解決を目指して計画を自分なりに工夫している。		

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (8)	○これまでの学習を振り返る。	□内容 A について振り返ることができるように，写真や映像，これまでのワークシートなど使って思い出させる。	
問題発見 (2)	家族や幼児についてもっと知りたいことは何だろうか。		
課題設定 (10)	○課題設定 ・触れ合い体験 C について知る。 ・自分の課題を設定する。	□課題を設定しやすくするために，触れ合い体験 C（親子が来校し，インタビューする）について詳しく説明する。	
課題追及① (20)	○計画，立案，見直し ・インタビューする内容や幼児との触れ合い方を考える。 ・グループ内で計画について意見交換する。 ・司会等の役割分担をする。 ・計画の見直しをする。	□課題を解決するための質問になるように適宜アドバイスをする。 □効率的にインタビューできるように，グループで話し合わせる。 □意見交換から自分の計画を見直させる。	【工夫・創造】〈ワークシート〉 ◇家族または幼児の生活について課題を見つけ，その解決を目指して計画を自分なりに工夫している。 ◎自分の課題を解決するための質問を考え，友だちの意見も参考に計画を見直したり工夫したりしている。 →グループでの話合いでもらったアドバイスや友だちの意見を参考にさせる。
まとめ (10)	・自分の計画を発表する。 ・次時の確認をする。	□計画を発表することで次時への意欲を高める。	

略案
⑱

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第３学年 15/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・家族又は幼児の生活をよりよくすることに関心をもち，課題を主体的にとらえ，計画と実践に取り組もうとしている。			

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	・あいさつをし，本時の流れを確認する。 ・子育て支援センターの方の話を聞く。	□自分の課題を確実に解決することができるように，本時の流れを確認する。	
問題発見 (2)	課題解決のためにどんな情報を得たらよいだろうか。		
課題追及 (35)	○触れ合い体験 C ・グループに分かれ自己紹介をする。 ・考えてきた質問を順番に行う。 ・幼児と一緒に遊び，触れ合う。 ・感想を発表し，来校してくださった幼児と保護者にあいさつをする。	□効率的にインタビューすることができるように，グループをまわりアドバイスをする。 □幼児と触れ合いやすくするために，おもちゃを用意しておく。 □準備した質問だけでなく，様々な情報を得るために，インタビューが終了したグループは幼児と触れ合いながら交流をもたせる。	【関心・意欲・態度】 〈観察，ワークシート〉 ◇家族又は幼児の生活をよりよくすることに関心をもち，課題を主体的にとらえ，計画と実践に取り組もうとしている。 ◎自分の課題を解決するために質問をし，さらに出てきた疑問を解決しようとしている。 →計画した質問をワークシートで確認したり，友だちが質問したことをメモしたりさせる。
まとめ (8)	○レポート作成及び課題追求について ・触れ合い体験 C を生かしたレポートの書き方を理解する。 ・さらに調べることや家族へのインタビューについて考える。	□レポートの内容を深めるために，触れ合い体験 C だけでなく，さらに調べたいと思ったことや家族へのインタビューをしてくることを指示する。	
※家庭実践及びレポート作成			

略案
⑲

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第３学年 16,16.5/16.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
	実践の成果と課題についてまとめたり，発表したりしている。		

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	・前時の触れ合い体験Ｃを振り返る。	□前時の学習内容を共有するために，グループごとに行った質問や触れ合い体験の感想を発表させる。	
問題発見 (2)	これまでの学習から幼児についてわかったことはどんなことだろうか。		
課題追及 (40)	○実践発表，評価 ・レポートをもとに，グループ内で実践を発表する。 ・付箋に評価を書き，お互いに交換する。 ・グループで１人代表を決め，全体の前で発表する。 ・聞いている人は，付箋に評価を書いて発表者に渡す。	□全員が発表するために，グループ発表の後，全体発表(代表)を行う。 □効率的な評価を行うために，付箋を活用する。 □適切な評価をするために，よい所だけでなく，改善点についても積極的に書かせる。 □時間内に発表するために，司会，ﾀｲﾑｷｰﾊﾟｰ等を決める。	【工夫・創造】〈レポート〉 ◇実践の成果についてまとめたり，発表したりしている。 ◎自分の課題について実践の成果をわかりやすくまとめ，工夫して発表している。 →友だちの発表の仕方をまねするようにアドバイスをする。
問題解決 (15)	○評価・改善 ・付箋に書かれた評価や他の人の発表を参考に，自分の実践を評価し，改善を行う。	□自分の実践を振り返り，次の実践につなげるため，評価・改善の時間を十分にとる。	
まとめ (10)	○まとめ ・本時の感想を発表する。★	□次時につなげるために，本時に考えたことを発表する。	
確認 (3)	○次時の確認 ・次時が最後の授業であり３年間の求めをすることを伝える。	□３年間で学習したことをまとめ，自分の考えを発表することを伝える。	

略案
⑳

本時の学習【これからの生活を展望しよう】　（第３学年　1/1 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・3 学年間の学習を振り返り，これからの生活に見通しをもっている。 ・自分の成長や生活は家族やそれにかかわる人々に支えられてきたことに気付き，これからの自分と家族との関わりをよりよくするためにできることを実践しようとしている。			

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (8)	・3 年間の学習を振り返る。	□本時が技術・家庭科(家庭分野)の最後の授業であることを伝え，3 年間で学んできた学習内容を写真等で提示する。	
問題発見 (2)	これからの自分と家族との関わりをよりよくするためにできることはなんだろうか。		
課題追及① (10)	○自分の成長と家族 ・自分でできることやできないことで塗り分ける。 ・ガイダンス(1 年)で使用したワークシートと比較し，感想を発表する。	□自分の成長を確認させるため，1 年のガイダンスで使用したワークシートと同じものを使い，比較させる。 □3 年間の学習を補うため，色が塗れなかったところは，これからの生活で改善することを伝える。	【関心・意欲・態度】〈ワークシート〉 ◇3 学年間の学習を振り返り，これからの生活に見通しをもっている。 ◎3 年間の学習で身に付けたことを自分なりに工夫し，これからの生活に生かそうとしている。 →これまでのワークシートを見直させる。
課題追及② (10)	○これからの生活への見通し ・ゲストティーチャー(校長先生)の話を聞く。	□生徒たちに自信をもたせ，人生の次のステージへの一歩を踏み出させるために，3 年間の成長を伝えていただくとともに，これからの生徒たちに期待することを話していただく。	【関心・意欲・態度】〈ワークシート〉 ◇自分の成長や生活は家族やそれにかかわる人々に支えられてきたことに気付き，これからの自分と家族との関わりをよりよくするためにできることを実践しようとしている。 ◎これまでの成長について，家族や周囲の人々に感謝し，これからの関わり方について具体的に考えることができる。 →これまでのワークシートの記述部分を読み，3 年間の学習や生活を振り返らせる。
問題解決 (15)	・3 年間で学んだことを振り返り，これからの生活について自分の考えを手紙にする。★	□自分の考えを表現しやすくするために，手紙形式で書かせる。	
まとめ (5)	・教師の説話を聞く。	□家庭分野担当教諭として，これからの家族との関わりなどについて生徒たちへの思いを伝える。	

２　触れ合い体験１回実施の場合の実践例

第5分科会

【A　家族・家庭と子どもの成長】に重点をおいた3学年間の履修計画例（触れ合い体験1回実施の場合）

	週(時)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年	題材名	ガイダンス	家族との関わりから自分を見つめよう		自分の衣生活を工夫しよう									みんなが安心・安全な住まいを工夫しよう															賢い消費者になろう							
	学習指導要領項目等	A(1)ア	A(2)アイ		C(1)アイウ　D(2)ア									C(3)ア						C(2)アイ　A(3)ウ									D(1)アイ　A(2)イ							
	指導内容	・3学年間の学習の見通しをもとう ・自分の成長と家庭生活 見つめる	・家庭生活と地域との関わり ・家庭や家族の基本的な機能 見つめる・さぐる		・環境に配慮した衣生活 ・日常着の補修 ・日常着の手入れ ・衣服の表示と繊維 ・衣服の活用と選び方 ・自分らしく目的に合わせた着方 ・衣服のはたらき									・生活を豊かにするものの製作						・家族が安全に過ごせる室内環境 ・安全な住まい①家庭内事故を防ぐ ・家族の住空間 ・住まいのはたらき					・安全な住まい②災害への備え		・快適な住まい		・消費者の基本的権利 ・販売方法の特徴 ・商品の適切な選択と購入				・身近な消費トラブルと対処法	・高齢者被害の実態	・環境に配慮した消費生活	
	授業時数	1	2		9									6						5				(A)	2		2		3			3	(A)		2	
2年	題材名	健康的な食生活を工夫しよう												賢く健康的な食事をつくろう																				幼児の生活をさぐろう		幼児の成長から自分の成長を見つめよう
	学習指導要領項目等	B(1)アイ、(2)アイ						B(2)ウ						B(3)ア								B(3)イ									B(3)ウ【生活の課題と実践】			A(3)アウ		A(1)ア
	指導内容	・食事の役割 ・生活リズムと食事 ・栄養素のはたらきと食品 ・中学生に必要な栄養 ・食品の栄養的特質と概量 ・中学生の1日分の献立						・生鮮食品の選び方 ・いろいろな加工食品 ・加工食品の表示と選び方 ・食品の安全と情報						・調理の計画 ・調理の基本 ・食品や調理用具の管理 ・肉の調理 ・魚の調理 ・野菜の調理								・地域の食材と郷土料理			・受け継がれる食文化			★家族のためのお弁当作り					・幼児の生活をさぐろう （幼児の疑似体験をしよう）（VTR視聴） 見つめる・さぐる		・自分の成長 ・自分と家族の関わり	
	授業時数	6						4						13								3	(A)		3				★3					2		1
3年	題材名	幼児の成長から自分の成長を見つめよう																																これからの生活を展望しよう		
	学習指導要領項目等	A(1)ア(3)アイウ																				A(2)アイ(3)ア			A(3)エ【生活の課題と実践】									A(1)ア		
	指導内容	・幼児の生活習慣 ・幼児の心身の発達		・幼児の生活と遊び ・幼児のための遊び道具の製作				・触れ合いの体験の計画の準備 ・幼児と関わり方の工夫 ・触れ合い体験Bの情報共有 ・振り返りと関わり方 ・幼児とのよりよい関わり方														・子どもの成長と地域 ・幼児を取り巻く環境			・課題設定 ・活動計画 ・実践 ・まとめ ・発表									・3年間のまとめ		
		見つめる・ためす						ためす・活かす														結びつける 活かす			活かす・創み出す									創み出す		
	授業時数	2		3				6														2			★3.5									1		

【A　20H+★3.5　B　29H+★3　C　24H　D　8H（★課題と実践）】

◇内容Aを1学年の最初と3学年の最後に位置づけることによって、自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられていることを意識させる。
◇全学年で内容Aに関する学習を扱うことで、内容Aが3学年間の学習の軸であることを明確にした。
◇内容Aの学習と内容B・C・Dの関連を図った学習活動を取り入れ履修計画に位置付けた。
◇製作した遊び道具を使った触れ合い体験Bを行う。

第5分科会 【A 家族・家庭と子どもの成長】 指導計画・評価計画（触れ合い体験1回実施の場合）

分科会テーマ 人と関わることを通して自己を見つめ、よりよい家庭生活を創造できる生徒の育成 ～人との関わりを重視した学習指導法の研究～

●内容Aのねらい

幼児との触れ合いや家族・家庭に関する実践的・体験的な学習活動を通して，幼児に関心をもたせるとともに，自分の成長や家族・家庭，幼児の発達と生活について関心と理解を深め，家族や幼児に主体的に関わることができるようにする。また，これからの生活を展望して，課題をもって家庭生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

●内容Aの評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・3学年間の学習に見通しをもち，自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて関心をもって学習活動に取り組もうとしている。 ・家庭と家族関係について関心をもって学習活動に取り組み，家庭生活をよりよくしようとしている。 ・幼児の生活と家族について関心をもって学習活動に取り組み，家族又は幼児の生活をよりよくするために実践しようとしている。	・家庭と家族関係について課題を見付け，その解決を目指して工夫している。 ・幼児の生活と家族について課題を見付け，その解決を目指して自分なりに工夫し創造している	・幼児の生活と家族に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	・家庭や家族の基本的な機能，家庭生活と地域とのかかわりについて理解している。 ・幼児の生活と家族について理解し，基礎的・基本的な知識を身に付けている。

指導学年	時間	題材名【指導項目】 ○ねらい・学習活動	学習内容	評価規準 生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	評価方法	研究テーマとの関わり 能力	態度	働きかけのポイント	略案・ワークシート	★関わりのポイント
1年（3時間）		3学年間の学習の見通しをもとう【A（1）ア】 1時間											
	1	家庭分野では何を学ぶのだろう ○今までの学習を振り返りながら、自己を見つめ、自分の成長と家族との関わりについて考え、これから始まる3学年間の学習について見通しをもつことができる。 ・家庭生活や小学校での学習を振り返る。 ・家族との関わりを考えながら、3学年間の学習の目標を立てる。	○自分の成長と家庭生活～自分の思いを手紙にしよう～	・小学校の学習を振り返り，3学年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付いている。				ワークシート	見つめる	受動	自分の成長を振り返り、自分と家族との関係を見つめさせる。	略案①★ ワークシート①★	自分と家族
		家族との関わりから自分を見つめよう【A（2）アイ】 2時間											
	2	家庭のはたらきや地域との関わりを考えよう ○家庭や家族の基本的な機能を知り、家庭や家族の大切さや関わり方について考えることができる。 ・家庭内外での活動について調べ、ロールプレイングなどの活動から家族のあり方について考える。	○私を支えてくれた家族や周囲の人々 ○家庭や家族の機能	・家庭生活に関心を持って、学習活動に取り組もうとしている。			・家庭や家族の基本的な機能について理解している。	ワークシート・テスト	見つめる さぐる	能動	家庭のはたらきを知り、地域のために何ができるかをさぐり、自分と家庭・地域との関わりについて見つめさせる。	略案②★ ワークシート②★	自分と家庭・地域
	3	○家庭生活と地域との関わりについて理解し、よりよい関わり方を考えることができる。 ・地域の様々な活動について調査し、地域の活動を支えるために中学生にできることを話し合う。	○家庭生活と地域の関わり	・家庭生活と地域の関わりについて話し合いなどを通して、地域の人々とのつながりの大切さに気付いている。			・家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを理解している。	ワークシート・テスト				略案③ ワークシート③	
2年（2時間）		幼児の生活をさぐろう【A（3）アウ】 2時間											
	1 2	幼児を観察しよう ○幼児の観察や幼児の生活の疑似体験を通して、幼児への関心をもつ。 ・VTR視聴による幼児の観察と、幼児の疑似体験を行う。	○幼児の疑似体験 ○VTR視聴による幼児の観察	・幼児の観察を通して、幼児に関心をもっている。		・幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりなどについて，観点に基づいて観察し，整理することができる。		ワークシート観察			観察や体験を通して、幼児の生活をさぐり、幼児への関心を高めさせる。	略案㉑ ワークシート④㉓㉔	自分と幼児
2年（1時間）		幼児の成長から自分の成長を見つめよう【A(1)ア (2)イ (3)アイウエ】 17.5時間 （★生活の課題と実践3.5時間含む）											
	1	幼児期の成長と様々な人との関わりを考えよう ○自分の成長を振り返り、幼児の生活と家族、幼児を支える様々な人について関心をもつ。 ・写真資料等を見ながらこれまでの成長を振り返り、自分の家族との関わりを考える。	○自分の成長 ○自分と家族の関わり	・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付き、幼児の生活と家族について関心をもっている。				ワークシート	見つめる ためす	受動＋能動	幼児の成長を知り、家族や周囲の人々との関わりについて考えさせる。また、自分に置き換え、自分と家族のあり方を見つめさせる。	略案⑥★ ワークシート⑦★	自分と家族
3年（17・5時間）	2	○幼児の心身の発達の特徴について知り、家族の役割について理解する。 ・視聴覚教材や身近な幼児の観察などを通して、幼児の心身の発達の特徴についてまとめ、それを支える生活について考える。	○幼児の心身の発達		・幼児の心身の発達に応じた接方について考え、工夫している。		・幼児の心身の発達の特徴について理解している。 ・幼児の発達を支える家族の役割について理解している。	ワークシート・テスト				略案⑦⑧★ ワークシート⑧⑨★	
	3	○幼児の生活習慣について知り、家族の役割について理解する。 ・視聴覚教材や身近な幼児の観察を通して、基本的な生活習慣を形成する時の家族の関わり方について考え、家族の役割について話し合う。	○幼児の生活習慣				・基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性とそれを支える家族の役割について理解している。	テスト				略案⑨ ワークシート⑩	
	4 5 6	○幼児の観察や遊び体験、遊び道具の製作などを通して、幼児の遊びの意義につて理解する。 ・幼児の1日の生活を理解し、遊びと心身の発達との関わりについて考える。	○幼児の生活と遊び ○幼児の心身の発達に応じた遊び道具の製作		・幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具，遊び方について考え，工夫している。		・幼児にとっての遊びの意義について理解している。	ワークシート観察				略案⑩㉒ ワークシート⑪㉕	
	7 8	充実した触れ合い体験にしよう ○安全への配慮について十分に考え、幼児との触れ合い活動の計画を立てることができる。 ・幼児との遊び方や関わり方の工夫を考え、遊びの計画を立てる。 ・遊びの計画をグループで発表し、改善する。	○触れ合い体験Bの準備、計画	・幼児と触れ合う活動などを通して，幼児に関心をもち，適切に関わろうとしている。	・幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具，遊び方について考え，工夫している。			ワークシート観察	ためす 活かす		学習したことを触れ合い体験でためす。また、体験したことを活かし、自分と幼児とのよりよい関わり方について工夫できるようにさせる。	略案⑪⑫★ ワークシート⑫⑬★⑭	自分と幼児
	9 10	○幼児との触れ合い体験を通して、幼児への関心を高めるとともに、幼児との関わり方を工夫できる。 ・前時の計画をもとに幼児と遊んだり、触れ合ったりする。 ・幼児の遊びと心身の発達との関わりについて観察する。	○触れ合い体験B （保育所・幼稚園での触れ合い）	・幼児と触れ合う活動などを通して，幼児に関心をもち，適切に関わろうとしている。				ワークシート観察				略案⑬★ ワークシート⑮★	
	11 12	○幼児の観察や触れ合い活動について意見交換をし、情報を整理することで幼児について理解を深める。 ・触れ合い活動について観察したことや気づいたことなど、意見交換をする。 ・触れ合い活動から、幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫する。	○触れ合い体験Bの情報共有、振り返り		・幼児の心身の発達に応じた関わり方について，観察したことを生かして考え，工夫している。	・幼児の遊びや幼児の発達と人との関わりなどについて，観点に基づいて観察したことを，整理することができる。		ワークシート				略案⑭ 指導案★ ワークシート⑯★	
	13 14	子供の健やかな成長のための制度や環境を考えよう ○子供に関する諸問題や地域の実態から、家族や地域の役割を理解し、家族関係をよりよくするためについて考え、工夫することができる。 ・子供に関わる地域の施設や制度、ニュースなどを調べ、子供を育てるための環境について考える。 ・ニュースや事例家族から課題を見付け、よりよい生活を送るための工夫を考える。	○子供の成長と地域 ○幼児を取り巻く環境	・これからの自分と家族との関わりに関心をもち，家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。	・自分の生活や事例の家族について課題を見付け，家族関係をよりよくする方法について考え，工夫している。		・子供を育てる環境としての家族や地域の役割を理解できる。	ワークシート観察・テスト	結びつける 活かす		子供に関する諸問題や地域の実態から、子どもを育てる環境について考え、家庭・地域との関係をよりよくするたの工夫に結び付けさせる。	略案⑮⑯★ ワークシート⑰⑱★	自分と家庭・地域
	15 16 17 17.5	家族や幼児についてもっと知りたいことはなんだろう ○家族又は幼児の生活に関心を持ち、課題をもって家族関係又は幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践できる。 ・自分の生活を見直すことで課題を見付け、計画する。 ・課題を実践し、評価する。 評価、改善ををする。 ・実践したことを発表し、意見を交換することで、自分の実践を見直し、改善する。	★【生活の課題と実践】 ○課題設定、活動計画立案 ○実践 ○まとめ ○発表	・家族又は幼児の生活をよりよくすることに関心をもち，課題を主体的にとらえ，計画と実践に取り組もうとしている。	・家族又は幼児の生活について課題を見付け，その解決を目指して計画を自分なりに工夫している。 ・実践の成果と課題についてまとめたり，発表したりしている。			ワークシート・発表	活かす 創み出す	能動	これまでの学習を活かし、家族又は幼児の生活についての課題を解決させ、自分と家族や自分と幼児などとのよりよい関わり方を創み出させる。	略案㉓㉔㉕★ ワークシート㉖㉗㉑★	自分と○○
		これからの生活を展望しよう【A（1）ア（2）イ】1時間											
	1	○今までの学習を振り返りながら、自己を見つめ、これからの自分と家族との関わりについて考え、これから始まる生活について見通しをもつことができる。 ・家庭生活や3学年間での学習を振り返る。 ・家族との関わりを考えながら、これからの生活のあり方や目標を考える。	○自分の成長と家庭生活～自分の思いを手紙にしよう～	・3学年間の学習を振り返り，これからの生活に見通しをもっている。 ・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付き、これからの自分と家族との関わりをよりよくするためにできることを実践しようとしている。				ワークシート	創み出す		3年間の学習を振り返り、自分と家庭のあり方を考えることで、これからの自分の生活を展望させる。	略案⑳★ ワークシート㉒★	自分と家庭

★関わりのポイントを意識した場面

略案
㉑

本時の学習【幼児の生活をさぐろう】（第２学年　1,2/2 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
幼児の観察を通して，幼児に関心をもっている。		幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりなどについて，観点に基づいて観察し，整理することができる。	

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (10)	○学習の見通し ・「幼児」についてのイメージマップを作成する。	□今後の学習に興味をもたせるため，学習内容を知らせる。 □学習後と比較するために，学習前の「幼児」に関するイメージマップを書かせておく。	
問題発見 (3)	幼児はどのような生活を送っているのだろうか。		
課題追及① (35)	○幼児の疑似体験 ・乳幼児に関する体験やグッズの観察をし，幼児について理解を深める。 A 幼児用衣類の観察 B 新生児人形抱っこ C 離乳食の試食 D幼児の食生活の観察 E ﾁｬｲﾙﾄﾞﾋﾞｼﾞｮﾝによる視野体験 F 実物大写真と自分の比較 G幼児の手先の動き体験 H 幼児の安全用グッズの観察 I 幼児のおもちゃ・絵本の観察	□Ａ～Ｉを効率よく体験することができるように９つのブースを用意し，グループごとに３分間のローテーションで行う。 □体験や観察で気付いたことをしっかり記録させるために，グループ内で意見交換させながら行わせる。	【関心・意欲・態度】 ＜ワークシート・観察＞ ◇幼児の観察を通して，幼児に関心をもっている。 ◎疑似体験に積極的に取り組み，自分と比較するなどして，幼児の特徴や幼児が生活するための配慮などについて理解しようとしている。 →疑似体験から，自分と違うところを見付けさせる。
課題追及② (20)	○幼児の特徴と家族との関わり ・幼児の特徴や気づいたことをまとめ，周	□幼児と家族との関わりについて考えさせるため，体験や観察を通して気付いたことから，	

	囲の人々が配慮することを考える。 ・グループ内で意見交換した後，発表する。	幼児と過ごすときの配慮事項を具体的に記入させる。 □様々な視点から考えさせるため，グループで意見交換させた後，全体で共有する。	
課題追求③ (25)	○幼児の遊びや発達と家族との関わり ・ＶＴＲを視聴し，ワークシートに幼児の活動の様子や家族との関わりを整理して記入する。 ・グループで情報を共有し，整理する。	□今後の幼児に関する学習時に振り返ることができるように，映像からわかる幼児の様子や家族との関わりに関することを整理して記入させる。 □情報を確認し，整理するため，友達が気付いたことを追記入させる。	【生活の技能】 ＜ワークシート＞ ◇幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりなどについて，観点に基づいて観察し，整理することができる。 ◎ＶＴＲから年齢に応じた幼児の遊びや発達の様子をまとめ，幼児の発達を理解した家族の関わり方や幼児の疑似体験からわかった自分の考えを入れて整理している。 →幼児の年齢による特徴を観察し，まとめさせる。
問題解決 (7)	○まとめ ・本時の学習から，更に知りたいと思ったことをまとめる。	□次時の学習への意欲を高めるため，さらに知りたいことを挙げさせる。	

略案
㉒

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第３学年　5/17.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
	・幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具，遊び方について考え，工夫している。		

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	○遊び道具のイメージ ・過去の先輩の作品や写真を見る。	□過去の作品や写真を見せることで，具体的に幼児と触れ合うことをイメージさせ，遊び道具の製作に意欲を持たせる。	
課題発見 (2)	幼児の発達に適しているのはどんなおもちゃだろう。		
課題追求① (25)	○遊び道具の製作計画 ・触れ合い体験で一緒に活動する幼児の心身の発達に適した，計画を立てる。 ◦製作時間 ◦材料 ◦遊び方 ◦完成予想図	□これまでの学習を生かした計画を立てさせるため，幼児の心身の発達や遊びの特徴などを確認させる。 □身近なものや自然のものを生かした製作にさせるため，材料は身の周りで簡単に手に入れられるものにさせる。	
課題追求② (10)	○グループ内発表 ・遊び道具の計画を発表し，お互いにアドバイスを行う。	□幼児の発達に合い，使いやすいか，安全性，見た目のよさなど，ねらいに沿った製作にさせるため，意見交換させる。	【工夫・創造】＜ワークシート＞ ◇幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具，遊び方について考え，工夫している。 ◎幼児の心身の発達や遊びの特徴，アドバイス等を踏まえ，適切な遊び方ができる遊び道具を自分なりに工夫して，計画を立てている。 →幼児の発達シートや過去の作品等を見直させ，適した遊び道具をイメージさせる。
課題解決 (5)	○遊び道具の改善 ・意見交換をもとに，自分の計画を見直す。	□幼児の発達や製作のねらいに，より適した遊び道具になるように，アドバイスを参考に改善させる。	
次時の確認 (3)	○次時の確認 ・遊び道具製作の材料を準備する。	□忘れ物がないように，個人で用意するものを再度確認する。	

略案
㉓

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第 3 学年 15/17.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・家族又は幼児の生活をよりよくすることに関心をもち，課題を主体的にとらえ，計画と実践に取り組もうとしている。			

（２）展開

学習 過程 (時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (8)	○これまでの学習を振り返る。	□内容 A について振り返ることができるように，写真や映像，これまでのワークシートなど使って思い出させる。	
問題発見 (2)	家族や幼児についてもっと知りたいことや、やってみたいことは何だろうか。		
課題設定 (10)	○課題設定 ・家族や幼児について，もっと知りたいことや実践したいことを課題に設定する。	□知りたいことや，やってみたいことを具体的にイメージできるように，課題例を提示する。 （幼児の食生活・幼児のための絵本選びなど）	
課題追及① (20)	○計画，立案，見直し ・調査方法，場所，日時等を考える。 ・質問項目や調査内容を考える。 ・グループ内で計画について意見交換し，計画の見直しをする。	□課題解決のための流れをつかませるために，調査方法や内容を考えさせる。 （飲食店の幼児食メニュー調査，ショッピングモールでの幼児観察，幼児服の専門店の方にインタビューなど） □各自が計画を見直し，工夫できるよう，意見交換をさせる。	【関心・意欲・態度】 ◇家族又は幼児の生活をよりよくすることに関心をもち，課題を主体的にとらえ，計画と実践に取り組もうとしている。 ◎これまでの学習をさらに深める課題を見付け，自分なりに調査方法や内容を考え，計画を立てている。 →課題例を示したり，課題に合った適切な調査方法を助言したりする。
まとめ (10)	○次時までの確認 ・次時は調査したことについて途中経過の報告会をすることを確認する。	□次時の活動につなげるために，各自で計画を実践することを知らせる。	
※家庭実践			

略案
㉔

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第 3 学年 16/17.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
	・家族又は幼児の生活について課題を見つけ，その解決を目指して計画を自分なりに工夫している。		

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	○調査や実践の振り返り ・どこでどんな調査をしたのかを発表する。	□他の人の課題内容から様々な調査方法を知ることで，関心を高め，自分の調査に生かす。	
課題設定 (2)	自分の調査や実践を深めるにはどうしたらよいだろうか。		
課題追及① (28)	○途中経過報告会 ・グループ内で調査してきたことを報告する。 ・友達の報告を聞き，よくわかったこと，疑問に思ったこと，調査方法のアドバイスをお互いに行う。	□調査や実践の内容をさらに深める方策を考えさせるため，報告会を行う。 □計画の見直しにつなげられるようにするため，お互いにアドバイスをさせる。	
課題追及② (10)	○計画の見直し ・友達の意見を参考にし，さらに調査したいことや実践について計画の見直しをする。	□調査や実践が深まるようにさせるため，課題追求①を受け，さらに行いたい調査や計画の変更等を考えさせる。 □それぞれの課題を解決するために，適切な方法を個別に助言する。	【工夫・創造】〈ワークシート〉 ◇家族または幼児の生活について課題を見つけ，その解決を目指して計画を自分なりに工夫している。 ◎自分の課題を解決するために，友だちの意見も参考に計画を見直したり工夫したりしている。 →グループでの話合いでもらったアドバイスや友だちの意見を参考にさせる。
まとめ (5)	○次時の確認 ・レポートの書き方や次時の発表会について知る。	□各自の調査を充実させられるように，次時の確認をする。	
※家庭実践及びレポート作成			

略案
㉕

本時の学習【幼児の成長から自分の成長を見つめよう】（第３学年 17,17.5/17.5 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
	実践の成果と課題についてまとめたり、発表したりしている。		

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	・各自の計画と実践を振り返る。	□発表がスムーズに進められるよう、各自の課題と実践レポートを確認させる。	
問題発見 (2)	これまでの学習から幼児についてわかったことはどんなことだろうか。		
課題追及 (40)	○実践発表、評価 ・レポートをもとに、グループ内で実践を発表する。 ・付箋に評価を書き、お互いに交換する。 ・グループで１人代表を決め、全体の前で発表する。 ・聞いている人は、付箋に評価を書いて発表者に渡す。	□全員が発表するために、グループ発表の後、全体発表(代表)を行う。 □効率的な評価を行うために、付箋を活用する。 □適切な評価をするために、よい所だけでなく、改善点についても積極的に書かせる。 □時間内に発表するために、司会、ﾀｲﾑｷｰﾊﾟｰ等を決める。	【工夫・創造】〈ワークシート〉 ◇実践の成果についてまとめたり、発表したりしている。 ◎自分の課題について実践の成果をわかりやすくまとめ、工夫して発表している。 →友だちの発表の仕方をまねするようにアドバイスをする。
問題解決 (15)	○評価・改善 ・付箋に書かれた評価や他の人の発表を参考に、自分の実践を評価し、改善を行う。	□自分の実践を振り返り、次の実践につなげるため、評価・改善の時間を十分にとる。	
まとめ (10)	○まとめ ・本時の感想を発表する。★	□次時につなげるために、本時に考えたことを発表する。	
確認 (3)	○次時の確認 ・次時が最後の授業であり３年間のまとめをすることを伝える。	□３年間で学習したことをまとめ、自分の考えを発表することを伝える。	

３　内容Ａ「家族・家庭と子どもの成長」と
B,C,Dの内容を関連させた実践例

略案
Ｂとの
関連

本時の学習【賢く健康的な食事をつくろう】（第２学年　15/22 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
地域の食材を生かした日常食などの調理を通して，地域の食文化に関心をもっている。			

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	・写真を見て，どこの郷土料理なのかを考える。	□郷土料理への関心をためるため，クイズ形式で答えさせる。	
問題発見 (2)	自分が受け継ぎたい埼玉の料理ってどんなものだろうか。		
課題追及① (20)	○郷土料理 ・家族にインタビューしてきた郷土料理をグループ内で発表する。 ・教科書や資料にある郷土料理を調べる。 ・郷土料理の特徴や食材から気づいたことをまとめ，発表する。	□様々な地域のものを知ることができるようにグループ内で発表させる。 □地域や食材の特性の違いを理解させるために，発表で不足している地域等について教科書を使ったり，全体での発表を行ったりする。	
課題追及② (5)	○埼玉県の郷土料理と特産物 ・自分が住む埼玉県の郷土料理と特産物を挙げる。	□地域の料理や食材に関心を向けるため，自分が住む埼玉県及び地域について考えさせる。	
問題解決 (15)	○埼玉の特色を生かしたうどんの調理計画 ・うどんの具や汁に，埼玉の特色を取り入れた調理計画を立てる。	□地域の食文化への関心を高めるため，調理の計画を立て実践させる。	【関心・意欲・態度】 ◇地域の食材を生かした日常食などの調理を通して，地域の食文化に関心をもっている。 ◎発表や調べたことから埼玉県の郷土料理や特産物を生かし，うどんに適した食材や調理法を用いた調理の計画を立てている。 →埼玉の特産物や郷土料理の中から，うどんに合うものを考えさせる。
次時の確認 (3)	・実習に必要な持ち物や準備を確認する。	□次時の確認を行うとともに，地域の方にうどん作り方を指導していただくことを伝える。	

略案
Cとの
関連

本時の学習【みんなが安心・安全な住まいを工夫しよう】（第１学年　5/9 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術につい ての知識・理解
安全で快適な室内環境に関心をもち，整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。			

（２）展開

学習 過程 (時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (5)	○高齢者疑似体験の振り返り ・総合的な学習の時間に行った，高齢者体験を思い出し，心身の特徴や配慮すべきことを発表する。	□総合的な学習の時間と結びつけて考えさせるため，体験を振り返らせ，高齢者の特徴を発表させる。	
問題発見 (2)	家族が安全で快適に過ごせる住まいにするためにはどうしたらよいだろうか。		
課題追及① (10)	○幼児の疑似体験 ・教室及び校内で，チャイルドビジョンを使用し，幼児の生活を体験する。	□幼児の視野や視線が中学生と違い，危険が多いことに気付かせるため，疑似体験を行う。	
課題追及② (25)	○家族の安全を考えた住まい方 ・高齢者，幼児の疑似体験から，学校内で起こりそうな事故とその対策を考える。 ・モデル家族の間取りから，家庭内の事故が起こる場所とその原因及び対策を考える。 ◦事故，原因…赤の付箋 ◦対策…青の付箋 ・グループ内で意見をまとめ，発表する。	□中学生や大人では考えられないような家庭内の事故に気付かせるため，幼児と高齢者について考えさせる。 □様々な意見が出るように，個人で考えた後，グループで意見をまとめ，発表させる。	【関心・意欲・態度】〈ワークシート〉 ◇安全で快適な室内環境に関心をもち，整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。 ◎幼児や高齢者も含めた家族全員の住まい方について，疑似体験を踏まえた具体的な対策を考えている。 →疑似体験を振り返り，幼児や高齢者の気持ちを考えさせる。
問題解決 (8)	・家族全員が安全で快適に過ごすためにはどうしたらよいのかを考え，発表する。	□快適な住まいとは，家族全員が安心して暮らせる住まいであることを考えさせるため，自分の意見をまとめさせる。	

略案
Dとの
関連

本時の学習【賢い消費者になろう】（第１学年　5/8 時間）

（１）本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・自分や家族の消費生活について関心をもち，消費の在り方を改善しようとしている。			

（２）展開

学習過程(時間)	○学習内容 ・学習活動	□教師のはたらきかけ	評価と指導 【】評価の観点　〈〉評価方法 ◇評価規準 ◎「十分満足できる」状況 →努力を要する生徒の指導の手だて
導入 (8)	・おばあちゃんが体験したりんごの訪問販売についてのスライドを見て，質問に答える。	□消費トラブルを身近なものとしてとらえさせるために，実際の新聞記事を元にしたスライドを使用する。	
問題発見 (2)	みんなが失敗しない買い物をするためにはどうしたらよいのだろうか。		
課題追及① (15)	○契約 ・導入の質問の答えを知り，契約について理解する。 ・導入に使用した新聞記事を読む。 ・身近な契約の例を知る。	□誰にでもトラブルに巻き込まれる可能性があることを伝えるため，新聞記事をじっくり読ませる。 □契約は誰もが日常的に行っていることに気付かせるために，例を挙げる。	
課題追及② (15)	○消費トラブル ・中学生に身近な消費トラブルについて知る。 ・対処法（クーリング・オフ，消費生活センター）を理解する。	□日常生活と結びつけて考えさせるため，中学生に起こったトラブルを取り上げる。 □対処法を確実に理解させるため，教科書や新聞記事に線を引かせる。	
問題解決 (10)	○高齢者の消費トラブル ・高齢者の被害状況のグラフからわかったことを発表する。 ・高齢者や自分の家族の被害を減らすためにはどうしたらよいかを考える。	□自分だけでなく家族のトラブルにも目を向けさせるため，高齢者の被害を知らせる。 □導入のおばあちゃんが自分の家族の場合を想定し，より具体的に考えさせる。	【関心・意欲・態度】〈ワークシート〉 ◇自分や家族の消費生活について関心をもち，消費の在り方を改善しようとしている。 ◎消費トラブルの現状を理解し，自分だけでなく家族同士で関心をもち，相談し合うなど，具体的な改善を考えている。 →新聞記事をもう一度読ませる。

©fumira